

代数と幾何 D (第4回小テスト(リベンジテスト)・2008/1/9)

各小問 10 点 (150 点満点)

[1] 次の群はどのような群か? 定義を書け.

- (i) 群 G の正規部分群,
- (ii) 単純群.

[2] (i) 3 次対称群 S_3 の $H = \{(1), (12)\}$ による右剰余類分解, 左剰余類分解をそれぞれ求めよ.

(ii) 左剰余類の集合 $S_3/H = \{aH \mid a \in S_3\}$ と右剰余類の集合 $H \backslash S_3 = \{Ha \mid a \in S_3\}$ の完全代表系をそれぞれ与えよ.

(iii) H は S_3 の正規部分群か? 正規部分群ではないか?

[3] n 次交代群 A_n とは $A_n = \{\sigma \in S_n \mid \sigma \text{ は偶置換}\} = \{\sigma \in S_n \mid \text{sgn}(\sigma) = 1\}$ なる S_n の正規部分群のことであった.

(i) n 次対称群 S_n の n 次交代群 A_n による左剰余類分解を与えよ. また, $\#A_n$ はいくつか?

(ii) 4 次交代群 A_4 の全ての元を巡回置換 $(i_1 i_2 \cdots i_k)$ の積を使って書き, それぞれの元の位数を求めよ. (例 $A_3 = \{(1), (1 2 3), (1 3 2)\}$, 各元の位数はそれぞれ 1, 3, 3)

[4] 群 G の指数 2 の部分群 ($|G : H| = 2$) は正規部分群であることを示せ.

[5] 二面体群 D_n とは, 平面上の正 n 角形 ($n \geq 3$) を空間内で動かし, 自分自身に重ねる変換全体のことであった. 時計回りの $(2\pi/n)$ 回転を σ , 1 つの頂点 n を動かさない裏返しを τ とすれば, $D_n = \{1, \sigma, \dots, \sigma^{n-1}, \tau, \sigma\tau, \dots, \sigma^{n-1}\tau\}$, $\#D_n = 2n$ である.

(i) $\sigma, \tau, \sigma\tau$ の位数 $\text{ord}(\sigma), \text{ord}(\tau), \text{ord}(\sigma\tau)$ はそれぞれいくつか?

(ii) 二面体群 D_5 の元を全て書き, 各元の位数を答えよ.

(iii) D_5 の部分群を全て求め, 部分群の包含関係を Hasse 図で表わせ.

[6] 群 G の部分群 $H \subset G$ と元 $a \in G$ に対し, $aHa^{-1} := \{axa^{-1} \mid x \in H\}$ とすれば, H から新たに G の部分群 aHa^{-1} が得られる. aHa^{-1} を H の共役部分群という.

(i) $\forall a \in G$ に対し, aHa^{-1} は G の部分群である事を示せ.

(ii) $\forall a \in G$ に対し, $|aHa^{-1}| = |H|$ を示せ.

(iii) H が G の正規部分群 ($H \triangleleft G$) $\iff H$ の共役部分群は H のみ, を示せ.

[7] $Q_8 = \{\pm 1, \pm i, \pm j, \pm k\}$, 但し $i^2 = j^2 = k^2 = -1, ij = -ji = k$ であり, $\{\pm 1\}$ は Q_8 の全ての元と可換とする. このとき, Q_8 は非可換群となり, 位数 8 の四元数群という.

(i) Q_8 の部分群を全て求め, 部分群の包含関係を Hasse 図で表わせ.

(ii) 四元数群 Q_8 の部分群は全て正規部分群である事を示せ.

(iii) 剰余群 $Q_8/\{\pm 1\}$ は Q_8 のどの部分群とも同型ではない事を示せ.

- [8] 群 G, G' の単位元をそれぞれ $1_G, 1_{G'}$ とする. 群の準同型写像 $f: G \rightarrow G'$ に対し, 次を示せ.
- (i) $f(1_G) = 1_{G'}$,
 - (ii) $\forall g \in G$ に対し, $f(g^{-1}) = f(g)^{-1}$,
 - (iii) $\forall g \in G$ に対し, $\text{ord}(f(g)) \mid \text{ord}(g)$,
 - (vi) f が単射であれば, $\forall g \in G$ に対して, $\text{ord}(f(g)) = \text{ord}(g)$.

- [9] 群の準同型写像 $f: G \rightarrow G'$ に対し, 次を示せ.

- (i) f : 単射 $\iff \text{Ker} f = \{1_G\}$,
- (ii) $\text{Im} f$ は G' の部分群,
- (iii) $\text{Ker} f$ は G の正規部分群.

- [10] $M_2(\mathbb{R})$ を実数係数の 2×2 行列全体の集合, $\text{GL}_2(\mathbb{R}) := \{A \in M_2(\mathbb{R}) \mid \det(A) \neq 0\}$, $\text{SL}_2(\mathbb{R}) := \{A \in M_2(\mathbb{R}) \mid \det(A) = 1\}$ とする. $(\text{GL}_2(\mathbb{R}), \cdot)$ は行列の積で乘法群となる.

- (i) $\det: \text{GL}_2(\mathbb{R}) \rightarrow \mathbb{R}^\times, A \mapsto \det A$ は全射準同型写像であることを示せ.
- (ii) $(\text{SL}_2(\mathbb{R}), \cdot)$ は $(\text{GL}_2(\mathbb{R}), \cdot)$ の正規部分群である事を示せ.
- (iii) 準同型写像 \det に準同型定理を適用すると, どのような同型が得られるか?

- [11] 直積 $C_2 \times C_3$ に対し, $C_2 \times C_3 \cong C_6$ を示せ (但し, C_n は位数 n の巡回群).

- [12] 共役作用 $G \times G \rightarrow G, (g, x) \mapsto g \circ x := gxg^{-1}$ による軌道 $\text{Orb}_G(x) = \{gxg^{-1} \mid g \in G\}$ を x の共役類, 共役類 $(x \sim y \iff \exists g \in G \text{ s.t. } y = gxg^{-1})$ による同値類) による類別 $G = C_1 \cup \dots \cup C_k$ の位数を表わした等式 $|G| = |C_1| + \dots + |C_k|$ を類等式といった.

- (i) A_4 の類等式 $12 = 1 + 3 + 4 + 4$ を使って, A_4 には位数 6 の部分群が存在しない事を示せ.
- (ii) A_5 の類等式 $60 = 1 + 15 + 20 + 12 + 12$ を使って, A_5 が単純群であることを示せ.

- [13] A_4 の部分群を全て求め, その包含関係を Hasse 図で表わせ (問 [12](i) と問 [3] を使ってよい).

- [14] 乘法群 $(\mathbb{Z}/n\mathbb{Z})^\times := \{[a] \in \mathbb{Z}/n\mathbb{Z} \mid (a, n) = 1\}$ の位数 $\varphi(n) = \#(\mathbb{Z}/n\mathbb{Z})^\times$ をオイラー関数といった. 各元 $[a]$ に対し $[a]^{\varphi(n)} = [1]$ より, $[a] = [b] \iff a \equiv b \pmod{n}$ に注意すれば, オイラーの定理 $(a, n) = 1 \implies a^{\varphi(n)} \equiv 1 \pmod{n}$ が得られる.

- (i) $10^k \equiv 1 \pmod{17}$ となる $k \in \mathbb{N}$ は存在するか? また存在すれば, 最小の k を答えよ.
- (ii) 109^{900} を 19 で割った余りはいくつか?

- [15] **Fact.** $(m, n) = 1 \implies (\mathbb{Z}/mn\mathbb{Z})^\times \cong (\mathbb{Z}/m\mathbb{Z})^\times \times (\mathbb{Z}/n\mathbb{Z})^\times$ が成り立つ. これは, オイラー関数の乗法性 $(m, n) = 1 \implies \varphi(mn) = \varphi(m)\varphi(n)$ を示している.

- (i) 素数 p に対して, $\varphi(p^r) = p^{r-1}(p-1)$, ($r \in \mathbb{N}$) を示せ.
- (ii) 上記のオイラー関数の乗法性と (i) を使って, $\varphi(19), \varphi(38), \varphi(60), \varphi(720)$ を計算せよ. (つまり, $(\mathbb{Z}/19\mathbb{Z})^\times, (\mathbb{Z}/38\mathbb{Z})^\times, (\mathbb{Z}/60\mathbb{Z})^\times, (\mathbb{Z}/720\mathbb{Z})^\times$ は位数がいくつの乘法群か?)